

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
防災士資格取得促進事業		堺区役所自治推進課			
事業目的	事業内容	活動指標	H30	R1	R2
堺区在住の若者を中心に、防災士の資格取得に要する費用を全額補助し、若手防災リーダーを育成し、地域防災力の向上を図る。 資格取得後は、堺区防災サポーターとなり、自宅や職場、災害時に開設される避難所等で即戦力として活躍することが期待される。	防災士の資格取得に要する次の費用を補助する ①研修受講料 ②資格取得受験料 ③防災士登録料	防災士資格取得者数		6名	8名
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎ 災害の規模が大きいほど行政による救助などに著しい影響が生じることから、地域で防災を担える人材を育成することは必要である。	○ 堺区防災サポーターは、地域の防災訓練や災害時に活躍が期待されるため、区民との協働であるといえる。	○ 防災士の資格を取得するだけでなく、堺区防災サポーターとして、すべての区民が安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくりを推進する。	◎ 地域防災の担い手となる若者を増やすことで、堺区において防災意識の向上を効率的に図ることができる。		
⑤自立発展性	総合評価				
— より多くの次世代の防災の担い手を育成することは、地域防災の向上につながることから、区が地域での人材育成の支援を行うことは必要。	○ 資格取得後は、堺区防災サポーターとなり、地域や市で実施される防災訓練や出前講座などに参加してもらうことで、自宅や職場、災害時に開設される避難所等で即戦力として活躍することが期待される。 それにより、災害発生時に支援を受ける側ではなく、支援を行う側になってもらうことができ、発生時に公的支援が到着するまでの被災拡大軽減や被災者支援など、地域防災力の向上に繋がる。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	地域の防災力向上のためにも、継続して本事業を行い、さらに防災士資格取得者を増やす。 また、堺区防災サポーターを対象にした研修会や、地域の防災訓練などの参加でさらなる防災知識の向上を図る。 災害時には、それぞれの自宅や職場、避難所等で自主防災組織や災害時対応職員とともに指導的立場で従事してもらうことが期待できる。				